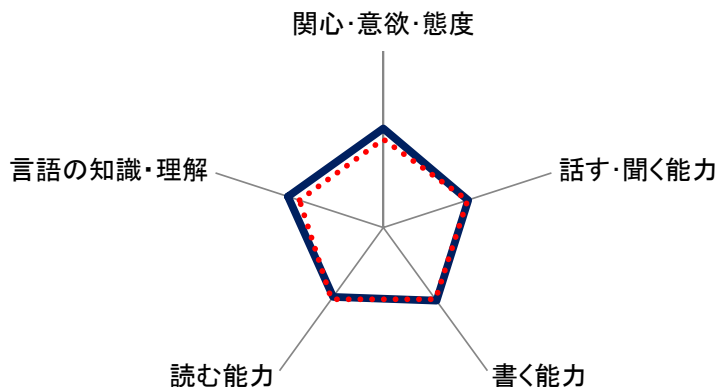


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

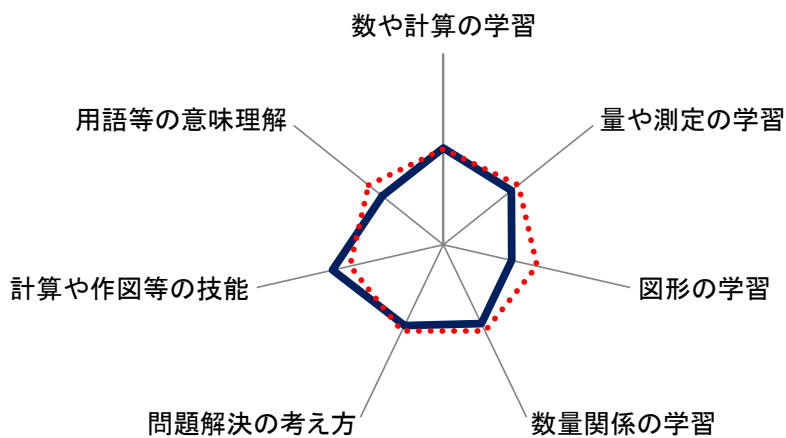
※ グラフはA問題とB問題の平均で表示

【国語】

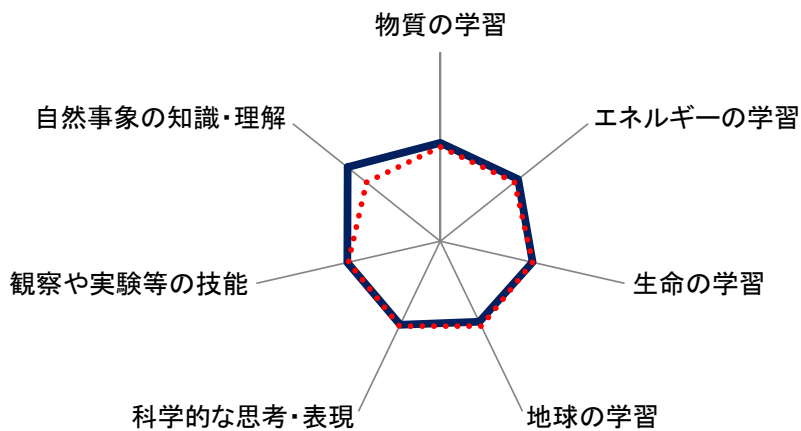
— 市平均
..... 全国平均



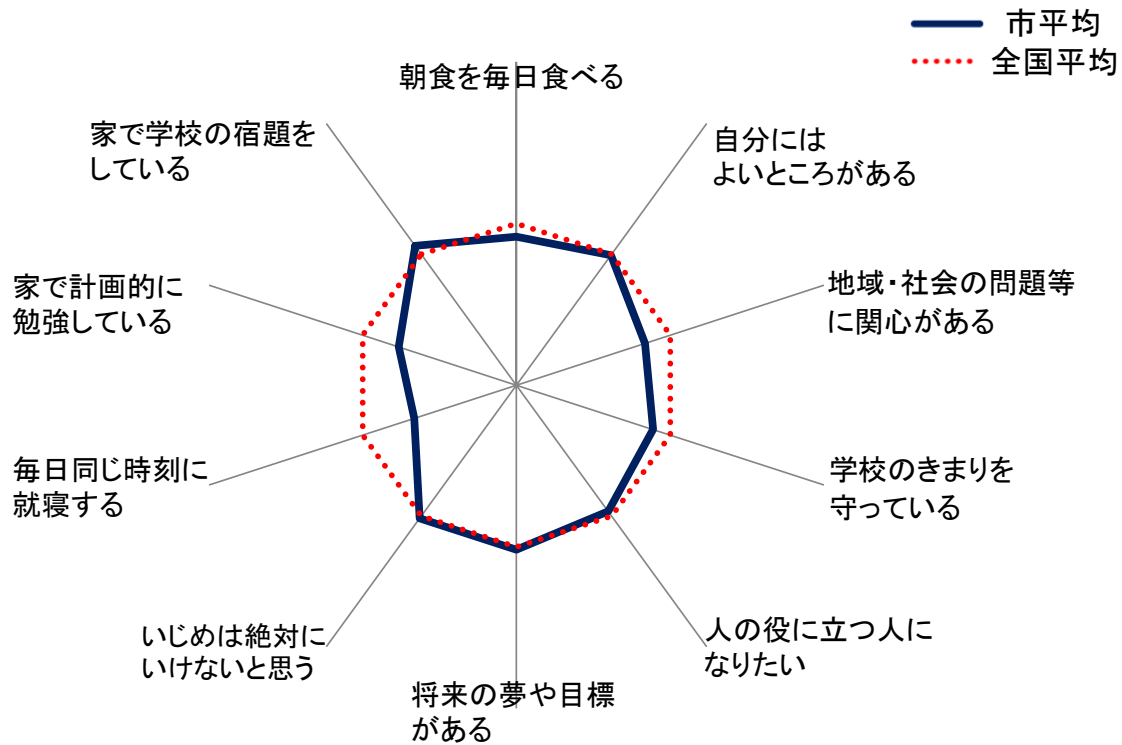
【算数】



【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語は5項目中4項目、理科は7項目中5項目で全国平均を上回っており、ともに「知識・理解」の項目が良好である。算数は全国平均を上回っているのが7項目中「計算や作図等の技能」の項目を含む2項目のみであり、計算等の基礎的な学習はしっかりと行われているものの、活用に関する学習に課題があると考えられる。課題解決に向けて、学習形態を工夫したり、考える過程を大切に授業展開を工夫したりするなどの授業改善に努めるなど、知識と活用のバランスの取れた学力の育成を図る取組の推進が望まれる。

児童質問紙調査では、「家で学校の宿題をしている」の項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っている。しかし、「家で計画的に勉強している」の項目が全国平均を下回り、主体的な学習の定着に課題があると考えられる。中学校に比べ、自尊感情や規範意識、基本的な生活習慣に関する意識が低い傾向があるので、進んで自分の生活をよりよくしていくようとする児童の育成に、学校と家庭、地域が連携して取り組むことが望まれる。